

## INTERVIEW 高槻市長 × 宮内庁楽部首席楽長

### 「宮中の雅」公演クロストーク

高槻市で開催される「宮中の雅」公演を目前に控え、2024年9月11日に多忠輝宮内庁式部職楽部首席楽長が高槻市役所を訪れ、濱田剛史高槻市長と懇談しました。

左: 濱田 剛史

(高槻市長)

右: 多 忠輝

(一般社団法人雅楽協会顧問 / 宮内庁式部職楽部首席楽長)

文・撮影 山縣基与志



**濱田 剛史(以下 濱田)** この度は高槻市で宮内庁楽部の貴重な公演を開催していただけるということで、本当に光栄に思っています。ありがとうございます。

**多 忠輝(以下 多)** いつも雅楽協会の人たちにも言っているのですけれど、この雅楽が1,000年以上も昔から存続しているのは、もちろん、われわれの先人のいろいろな苦労もありましたが、結局、この高槻市の鶴殿のヨシがきちんと守られているからこそだと。この鶴殿のヨシがあってこそ、今日われわれも何の心配もなく雅楽を演奏することができています。長きに亘り、きちんとヨシを守っていただいていることに誠に敬意を払っております。

**濱田** そう言っていたら、ありがとうございます。地元の方が本当に大切に大切にずっと守っておられます。地元の方からすると皆さん先祖代々ずっとヨシで生計を立て、ヨシと共に生活してきたので、地元の方はヨシに感謝の気持ちを持っていらっしゃる。高槻市ももちろん協力させてもらい、コロナで2年ほど中止になりましたが、ずっとヨシ原焼きも続いている。私も地元の鶴殿のヨシ原保存会の方々に呼ばれて毎年見に行っています。高槻の人はみなヨシ原焼きを知っています。

**多** その大切な鶴殿のヨシ原を守るために、国交省に新名神高速道路の建設の件で、雅楽界から要望がなされました。

**濱田** 国交省ではグリーンインフラという考えを進めていますし、ネクスコ西日本も鶴殿のヨシ原の生育環境に配慮した建造物にさせていただいたとお聞きしています。今後も市としても注視していきます。鶴殿のヨシ原は高槻市の宝でもございますので、大切に守っていくべきと思っています。

**多** それは本当にありがたいこと。是非よろしくお願致します。

**濱田** ところで、筆箆のリードは、鶴殿のヨシ原のものでないといけないのでしょうか？ 他にもヨシはあるはずですが。

**多** もう先人の私の師匠ぐらいの方々いろいろと利根川だとか、あらゆる場所を調べたのですが、結局ここに勝るヨシはない。寒暖差や水質などもあるのですが、ただただヨシを早く生育させるには水分が多いほど良いそうですが、筆箆のヨシとしては、柔らかくて使えない。あまり水分がなくて、陸のところに生えているヨシが良いらしい。古来ずっと鶴殿のヨシが筆箆のリードに使う理想のヨシなのです。

**濱田** ヨシは自然のもので、一つひとつ違ったりしないのですか？

**多** 鶴殿で刈ったヨシは、昔はどこにでもあった茅葺き屋根の家の囲炉裏の天井に吊して何年か燻して煤をかけていた。いまは茅葺きが残る白川郷に送って、やはり煤をかけながら乾燥させて、ある程度の太さのものを厳選して潰して削ってリードにしています。

**濱田** それは手間のかかる大変な作業ですね。ところで私は歴史が大好きなのですが、多首席楽長は古事記を編纂した太安万侶の親戚なのですか？

**多** はい、直系です(笑)。その古事記に書いてあります。ヨシは神であると。ヨシの芽は葦牙(あしかび)という神様でそこから生育して人になると。ヨシは最初、茎の中が全部詰まっています。それが成長するにつれて中の物が外に押し出され、空洞になります。それが人の誕生することに見立てられ、

最初の芽が神であり、生育して箏篋のリードとして僕たちは使わせてもらっています。

**濱田** ヨシには深く長い歴史や伝統があるんですね。鶴殿のヨシも地元の方々の熱い思いで頑張ってきたのですが、後継者問題などがあり、これからは関係者も気合いを入れて守っていかないといけないだろうと思っています。そんなご縁で、今回高槻市で特別公演していただけるのは大変光栄でございます。

**多** いやいやわれわれは、鶴殿のヨシを守っていただいている恩返しのつもりです。もともと雅楽は、奈良時代は奈良で、平安時代は京都、そして大阪の四天王寺で行われてきました。その三方楽所のほぼ真ん中にあるのが、箏篋で使う理想のヨシが生育している鶴殿のヨシ原。僕らにとっては、今回高槻市での公演は里帰りでもある。

**濱田** お帰りなさいませ（笑）。これもご縁だと思います。



**多** ありがとうございます。先日今回の公演をさせていただき、トリシマホールの下見をさせていただいた。木をふんだんに使った素晴らしいホールですね。雅楽は1,000人から1,500人くらいのキャパシティがちょうど良い。PAを使わずにできるだけ生の音を聴いてほしいからです。トリシマホールは雅楽のために作ったような理想的なホールです。出演者も自ずと気合いが入ります。

**濱田** 国立劇場が閉まっているから一般の方が宮内庁楽部の雅楽を愛でる貴重な機会でもありますからね。これは楽しみです。いまからワクワクしますね。

**多** 雅楽は世界最古のオーケストラです。鶴殿のヨシ原を守ってくださっている高槻市の皆様に最高の演奏をお届けします。濱田市長！ これからも雅楽を末永くよろしくお願い致します。

**濱田** 高槻市はこういう文化的なことを大切にしようという方針で、歴史や伝統を重んじたまちづくりを目指しています。これをご縁にこちらこそ、どうぞ末永くよろしくお願い致します。9月28日の公演を心待ちにしております。ありがとうございました。



濱田市長と多首席楽長の公演開催へ向けたメッセージを、高槻市公式 WEB サイトからご覧いただけます。



宮中の雅～宮内庁式部職楽部「雅楽」特別公演と  
関連イベントの詳細は下記特設サイトをご覧ください。

<https://gagaku-kyokai.or.jp/concert/miyabi2024.html>



発行日：2024年9月25日  
発行人：中澤信孝（雅楽協会 副代表理事 広報担当理事）  
編集：小野真龍 長谷川直子  
デザイン：株式会社オーバル  
連絡先：〒163-1302 東京都新宿区西新宿6丁目5番1号  
新宿アイランドタワー2階  
TEL:03-5050-4387 MAIL:info@gagaku-kyokai.or.jp